公社等外郭団体改革進行管理表

<table>
<tr><td>公　社　名</td><td colspan="2">公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団</td><td>主管課名</td><td>人権・男女共同参画課</td></tr>
<tr><td>役　割</td><td colspan="4">男女共同参画社会の実現を推進するための各種事業（講演会等の開催、人材育成、相談対応等）及び広報・啓発活動の実施</td></tr>
<tr><td>改革の方向性</td><td>・団体の今後のあり方検討
・健全経営の確保</td><td>主な事業内容</td><td colspan="2">(1)こうち男女共同参画センターの管理運営
(2)男女共同参画推進事業（情報収集・提供、調査研究、広報啓発、講演会・講習会・研修会等の開催、人材育成、相談対応、関係団体間の交流促進と自主的活動への支援 など）</td></tr>
<tr><td>令和７年度までの取組実績</td><td colspan="2">１経営改善計画

①経費削減の取組
　センターの保守管理経費等を競争見積や指名競争入札などにより削減した。職員のネットワークを活かして講師を依頼、また、県外講師に主催講座と出前講座を併せて依頼するなどして事業運営経費の削減に繋げた。
②財源確保の取組
　新型コロナウイルス感染症の影響を受けた以外では、利用者層の拡大を図り、利用者収入の増に取り組んだ(28年度10,088千円、29年度9,952千円、30年度10,682千円、元年度10,300千円、２年度7,010千円、３年度8,563千円、４年度10,329千円、５年度10,374千円、６年度9,755千円、７年度8,746千円）ほか、飲料水販売（28年度294千円、29年度319千円、30年度326千円、元年度317千円、２年度190千円、３年度185千円、４年度174千円、５年度179千円、６年度180千円、７年度167千円）などにより財源確保に努めた。

２民間団体・企業との協働、支援

①民間団体との協働・アウトソーシングの推進
　民間団体等との協働・支援により人材育成を図るとともに、サポーター講師の活用による出前講座の充実を図った。
②経済団体や県内大学との連携
　人材育成、ワーク・ライフ・バランス事業等において連携し事業の充実を図った。
③講演会、講座等で市町村役場と連携してサテライト上映を実施し、高知市外の参加者の拡大を図った。

３センター機能の充実・強化

①職員の専門性の向上
　国立女性教育会館及び民間団体が開催する各種研修等に計画的に参加し、専門知識の取得に努めた。
②人的ネットワークの強化
　県外研修等の機会を利用し、他県の女性センター職員との人的なネットワークの形成に努めた。</td><td>経営課題等</td><td colspan="2">１　運営の一層の効率化（経費削減）と事業内容充実のバランス確保

２　来所者数や施設の利用率をアップし、利用者の満足度を高めるための更なる工夫

３　指定管理者としての主体的な事業活動の推進

４　職員の専門性の更なる向上による運営体制の充実強化

５　大学や経済団体、企業等との連携の強化

６　民間団体等の育成支援</td></tr>
<tr><td colspan="5">【令和8年度以降の取組方針】
１　引き続き、施設利用率の向上等による財源確保と経費削減に努める。
２　魅力的かつ効果的な事業の実施により、受講者・来所者の増加を目指す。講演・講座のオンライン開催やオンデマンド視聴の導入、サテライト上映の実施等、事業内容の見直しを図る。
３　専門研修への参加等により、職員の資質の更なる向上を計画的に行い、運営体制の充実強化につなげる。
４　経済団体、企業及び県内大学等、連携や出前講座、アウトリーチの拡大を図る。</td></tr>
</table>